

出版情報

書名・件名	厚生白書（昭和34年度版）
副書名	－福祉計画と人間の福祉のための投資－
編集者・監修者	厚生省
所在地	東京都千代田区霞ヶ関1-2-2
国名	日本
郵便番号	100-0013
電話番号等	03（3503）1711
発行日	平成35年1月10日
価 格	250円

厚生白書の発表に際して

わたくしが、厚生大臣に就任してから早くも半歳を経過いたしました。この間、かねてより厚生行政の二大眼目としておりました国民皆保険計画の推進および国民年金制度の実施につきましては、着実に進捗をみせ、かくして、わが国の社会保障制度もしいに体系が整えられてきているのであります。かつて、社会的あるいは経済的な混迷に対処して、とかく取り残されがちな一部の貧困階層に対する施策や伝染病に対する施策等緊急の対策を主軸として展開してきた当時の厚生行政と比べると、格段の飛躍のあとがうかがえるのであります。

しかし、これで問題のすべてが解決したわけではありません。厚生行政は、つねに国民の日常生活に直結し、その改善と向上につとめることを仕事としています。このような観点から、国民の日常生活の現状を観察した場合、当面、解決にあたつてゆかねばならない問題は、多多存在するのであります。

すなわち、国民皆保険計画達成の見通しはつきましたが、しかし、無医地区対策をはじめとした他の医療保障部門の施策は、これからであります。疾病構造の推移に相応じた公衆衛生活動の進展や、とかく経済発展に取り残されがちな低所得階層、その他高齢者、母子世帯、身体障害者等の福祉の対策も充実させてゆく要があるのであります。また、児童福祉の問題も、最近とみに重視されてきているところであり、さらに、国民の生活水準の上昇に比べてあまりにも立ち遅れの状況にある環境衛生施設をはじめ、共同利用施設の整備という問題もありましょう。

以上のような問題は、いずれも、今後長期にわたつて計画的に、しかも、効率的に施策を進めてゆく要があり、今回の厚生白書においても長期計画の必要性を強調しているのであります。

行政は、国民とともに歩み、国民の理解と協力があつてはじめて発展するものでありますが、厚生行政については、とりわけこの感を深くするのであります。今回、厚生白書を作成したのも、その一助にとともに考えたしだいでありまして、今後の厚生行政に対する国民各位の御支援と御協力を切にお願いするしだいであります。

昭和三四年一二月一日 渡辺 良夫 厚生大臣